

第 46 回日本循環制御医学会総会・学術集会に参加して

大阪医科薬科大学 薬学部 薬学科
薬物治療学 I 研究室 小池 悠作

はじめに

私は、2025 年 6 月 20 日～6 月 21 日にかけて北海道旭川市にて開催された第 46 回日本循環制御医学会総会・学術集会に参加し、研究成果を発表させていただきました。今回、本学術集会に参加して経験したことを報告させていただきます。

日本循環制御医学会について

「日本循環制御医学会」は 1980 年に徳島大学医学部麻酔学教室の初代教授である斎藤隆雄教授が創設した学会であり、麻酔科、循環器内科、心臓血管外科、循環に関する基礎系の先生方が「循環」というキーワードで集まる診療科横断型の学会です。

第 46 回学術集会は、旭川医科大学生理学講座自律機能分野の入部玄太郎教授を大会長に、「循環制御のフロンティア」という大会テーマ（写真 1）が掲げられ、北海道旭川市の JA 上川ビル大会議室（写真 2）にて開催されました。



写真 1 学会ポスター



写真 2 JA 上川ビル大会議室

学会発表について

私は今回、演題「 Ca^{2+} 過負荷に対する β クリスタリンの役割と心不全の進展に及ぼす影響」の口頭発表を行いました（写真 3）。本研究は、 β クリスタリンの発現異常を起こしている心筋症ハムスターで顕著な心肥大が認められたことが背景となっています。

心筋における β クリスタリンの役割と心不全の進展に及ぼす影響について *in vivo* および *in vitro* にて検討した結果を発表させていただきました。発表後は座長から、「 β クリスタリンは筋小胞体に存在する Ca^{2+} に作用するのか、細胞質に存在する Ca^{2+} のどちらに作用するのか」等、ご質問を頂きました。また、他の先生方からもご質問を頂き、非常に有意義な発表となりました。

本学術集会においては、29 題の一般演題の他、教育講演や特別講演、シンポジウムが設けられており、熱意ある先生方による活発な議論が行われました。



写真 3

学会会場での記念撮影と口頭発表の様子

懇親会について

6 月 20 日、旭川市宮下通 11 丁目にある「大雪地ビール館」（写真 4）にて行われた懇親会に参加させていただきました。北海道を代表する羊肉料理であるジンギスカンや大雪地ビールを頂きました。

懇親会では、本学術集会に参加された先生方のお話を伺うことができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。



写真 4 大雪地ビール館

おわりに

今回初めて学会に参加させていただき、発表当日は大変緊張いたしました。これまでに励んできた研究の成果を発表することができたと感じています。歴史ある本学術集会にて口頭発表の機会を頂き、大変貴重で有意義な経験をすることができました。この経験を今後の研究に活かしていきたいと思えます。最後になりますが、ご指導いただいた林哲也名誉教授、加藤隆児教授をはじめ、研究室の皆様、研究にご協力いただいた先生方に心よりお礼申し上げます。